

今月の言葉

ひとたびの^{いのち}生命なりせば
いとおしみ
いとおしみつつ
今日を生きなん 本号 恵

いぶき

2019年11月発行

発行所
真宗大谷派 光善寺
発行人 太田高顕
茨木市島2丁目3-16
電話 072(632)7107
<http://www.eonet.ne.jp/~kouzenji>

報恩講 厳修

十一月十九・二十日

光善寺では、十一月十九・二十日の両日、報恩講をお勤めします。親鸞聖人は、阿弥陀如来の願いである念仏を称えればかならず救われると教えられたお方です。この親鸞聖人の御恩に謝し、自らが念仏生活を営むことを誓うことが報恩講の意義であります。お繰り合わせお参りいただきたいものです。

報恩講日程

十一月十九日(火)

午後二時 速夜

午後七時 初夜・御伝鈔

十一月二十日(水)

午前十時 晨朝

午後二時 結願日中

午後七時 十六日講

講師 譽田和人氏
ほんだ やすと

(岐阜 大垣別院 輪番)

仏具のお磨き

尼講有志

報恩講のお荘厳に欠かせない仏具のお磨きが始まります。本年は十一月七日、尼講有志により行われます。当日は、早朝から本堂内に花瓶、燭台、香炉などの仏具が並べられ、何度も点検しながら力をこめてピカピカに磨きあげられます。

報恩講の仏花

花講中

ご本尊前をお飾りする仏花ですが、報恩講ではひととき格調高く立てられます。当院の報恩講で生ける仏花は、松の幹(ボク)に松の枝葉、色花を飾り付ける独特の流儀。今年も、男女六名の講員が三日以上かけて仕上げられます。

いぶき承ぐだすー！

光善寺では、庫裡の耐震補強工事を行っております。安全確保のため、本年度は昼食接待をひかえさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご了承ください。

安楽寺 永代経・報恩講

二十二日に

安楽寺(野々宮)では、十一月二十二日(金) 永代経・報恩講が勤められます。午後二時から永代経、午後七時からは報恩講。どちらもお勤めと法話がなされます。

いぶきの会にご参加を

原則毎月二十八日に開催され、どなたでも参加できる会です。

- ・午後7時30分～9時まで
- ・場所 光善寺本堂
- ・勤行本をお持ちください。